

や ま だ  
山 田 かん

\* 昭和5年10月27日 長崎市生まれ  
\* 平成15年6月8日 没（72歳）



## ○ 略歴

両親が敬虔なクリスチャンであり、幼時に洗礼を受ける

- 昭和20年 旧制長崎中学校3年の時、被爆  
(14歳)
- 昭和23年 県立長崎図書館勤務（平成2年に退職）、この頃から詩作を始める  
(17歳)
- 昭和29年 第一詩集「いのちの火」を刊行  
(23歳)
- 昭和36年 詩誌「橋」を発行（～昭和40年）  
(30歳)
- 昭和43年 反原爆詩誌「炮氓」を主宰（～昭52年）  
(37歳)
- 昭和46年 詩集「ナガサキ・腐食する暦日の底で」を刊行  
(40歳)
- 昭和54年 個人詩誌「草土」を発行、逝去直前まで続ける  
(48歳)
- 平成2年 「山田かん詩集」を刊行  
(59歳)
- 平成6年 長崎ウェスレヤン短期大学非常勤講師（～平成10年）  
(63歳) 詩誌「カサブランカ」主宰（～平成9年）
- 平成13年 エッセイ集「長崎原爆・論集」を刊行  
(70歳)

## ○ 主な受賞歴

- 昭和33年 第1回現代詩新人賞 「鯨と馬」
- 昭和45年 第1回長崎県文芸賞 「記憶の固執」

## ○ その他の代表作

アスファルトに仔猫の耳（昭50）、予感される闇（昭56）  
詩と詩人たちー反原爆表現の系譜（昭59）、長與ながよ（平13）  
長崎碇泊所にて（平14）